

令和3年度「えひめ教育の日」推進大会 県教育長祝辞

日時:令和3年10月23日

場所:内子町共生館

令和3年度「えひめ教育の日」推進大会並びに推進フェスティバルの御盛会、誠におめでとうございます。

推進会議の皆様方には、日頃より、「えひめ教育の日」の普及・定着はもとより、本県教育の振興に格別の御尽力を賜り、厚くお礼を申し上げますとともに、本大会を共催いただいております一般社団法人「えひめ若年人材育成推進機構」の皆様方、そして開催地の内子町教育委員会並びに学校関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

さて、私たちは昨年来のコロナ禍に向き合い、一年半あまりが経過しました。県内では、ようやく感染状況に改善が見られ、今週20日には約1年ぶりに「感染縮小期」へと移行できましたが、これから冬を迎えるに当たり、まだまだ気を抜けない状況は続きます。

この間、子供たちは、昨年春の全国一斉臨時休業に始まり、再開後も運動会等の学校行事の中止や延期、部活動の制限、友達との楽しい時間となるはずの給食での黙食など、学校活動全般において様々な制約を受けて参りました。進路決定の際、学習の遅れなどを感じて、自分の将来に不安を覚えることもあったと思います。先般公表された文部科学省の調査結果を見ても、感染不安などを理由に登校できなかった児童生徒も含め、全国的に不登校は増加しており、コロナ禍による生活環境の変化が、子供の心身に影響を及ぼしていることが浮き彫りになったところです。

こうした中、学校現場では学校の安全と学びの保障の両立に向け、教職員は一丸となって全力を尽くして参りました。また、ご家庭では、コロナを学校に持ち込まないよう家族ぐるみで健康観察や感染予防に努めていただきました。地域におかれても、子供たちへの様々なご温情や、感染対策を徹底した上でのイベント開催など、子供たちが安心して元気に暮らせるようご支援をいただいたところです。これら全てのお力添えがあったからこそこの「いま」であり、皆様方には改めて厚くお礼申し上げたいと思います。

県教育委員会では今後とも、子供たちにとって、二度とない学校生活が充実したものとなるよう、一人ひとりに寄り添った、きめ細かな教育の実践に引き続き最善を尽くして参ります。

一方で、コロナ禍は社会のデジタル化を加速し、学校でもGIGAスクール構想が大幅に前倒しされました。県教育委員会では、今年度を「ICT教育元年」と位置づけ、小学校から高校まで県内全ての公立学校に配備した1人1台端末を活用しながら、子供たち一人ひとりの可能性を引き出す「個別最適な学び」の実現に取り組むとともに、デジタル学習と対面での体験活動を適切に組み合わせたハイブリッド教育も積極的に推進して参ります。

子供たちがICTを縦横無尽に使いこなしながら、並行して地域や社会にリアルに向き合い、課題に挑戦し、自ら解決する経験を積ませることは、これからの時代に必要不可欠な学びとなります。どうか皆様方には、未来を担う子供たちの健やかな成長を支えるため、今後とも、緊密な連携のもと、社会総がかりでの教育の推進に御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

終わりに、本日の推進大会・推進フェスティバルが実り多いものとなり、また、県民一人ひとりが教育について考え、行動する契機となりますことを強く期待いたしますとともに、推進会議のますますの御発展と、御出席の皆様方の御健勝・御多幸を心から祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。

令和3年10月23日

愛媛県教育委員会教育長 田所 竜二